

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成24年7月25日 (13:30~14:30)		
実施場所	白羽毛コミュニティセンター	参加人数	10人
参加対象	高道山地区振興会		
市側の出席者	市長 中里支所地域振興課主任、税務課主事		
	<p><b>【懇談要旨】</b></p> <p><b>1. 発言者</b></p> <p>①芸術作品の中で、良いロケーションの作品もあれば、そうでないものもある。作品を入れ替えることはできるか。</p> <p>②米を作っても儲からない。なにかしらアイデアを出せばいいとは思いますが、そういうことができる人がいっぱいいるわけでもないし、行動の為の軍資金もない。山がいい、水がおいしいと言われても、それだけでは生活できない。</p> <p><b>A. 関口市長</b></p> <p>①可能ではあると思う。壊れた作品で入れ替えたものはある。中里にも名作があるが、中里に無いものは飲食できる所(作品)だと思う。食べて、泊って、お土産を買う。そういったものが出来ると良い。</p> <p>②確かに農業にはお金がかかる。農業機械を共有しようと思っても、使う時期はみんな同じになる。市も製品のブランド化や6次産業化に取り組んでいるし、今年から国の事業で青年就農事業というのが始まった。それとは別に農外収入が得られるような職場づくりも進めていかなければならない。</p> <p><b>2. 発言者</b></p> <p>・高校卒業後、故郷を離れていたなので地元をよく知らない。松之山地域は温泉に関連付けて地域がまとまっている。十日町市も何かに関連付けてまとめられないか。</p> <p><b>A. 関口市長</b></p> <p>・十日町は、そばやきのご等の食品製造関連の産業が多い。十日町地域は地価が高いので工場の進出は難しいが、中里地域や他の地域は地価が安いのでそういったこともやりやすい。</p> <p>中里地域は、国道353号が関東からの玄関口になる。清津峡など観光地だけでなく農業を見てもらうことで、都会より十日町市で住みたいと思わせるようなセールスをしていきたい。</p>		

	<p><b>【その他】</b> 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今日は夏が過ごしやすいためクルシャツを着てきた。十日町の伝統産業を活用したものになっている。</li><li>・大地の芸術祭は新聞やテレビでもずいぶん取り上げてもらった。外から一人でも多く来ていただきたいし、来ていただければ喜んでもらえると思っている。</li></ul>

